

資料編

- ① 策定経過
- ② 平成 30 年度柏市まちづくり推進のための調査結果（抜粋）
- ③ 市民説明会の概要と主な意見
- ④ パブリックコメント結果
- ⑤ 用語の説明
- ⑥ その他

① 策定経過

＜計画の検討経過＞

年 月 日	項 目	内 容
平成29年 8月	定性的評価の実施	<ul style="list-style-type: none"> ● 個々の施設の必要性や課題などの再確認 ● 個々の施設の方向性の整理
平成29年 8月	庁内関係部署個別ヒアリング	<ul style="list-style-type: none"> ● 個々の施設の方向性についての考え方などの聴取
平成30年 3月	庁内関係部署との調整	<ul style="list-style-type: none"> ● 記載内容の確認・調整①
平成30年 3月26日(月)	柏市行政改革推進委員会 第1回会議	<ul style="list-style-type: none"> ● 「個別施設再編方針」の概要と今後のスケジュールについて
平成30年 4月	庁内関係部署との調整	<ul style="list-style-type: none"> ● 記載内容の確認・調整②
平成30年 5月10日(木)	公共施設マネジメント推進会議 課長会 第1回検討会議	<ul style="list-style-type: none"> ● 平成30年度の検討事項、スケジュール等について
平成30年 5月22日(火)	柏市行政改革推進委員会 第2回会議	<ul style="list-style-type: none"> ● 「個別施設再編方針」の素案に係る意見聴取①
平成30年6月25日(月) ～平成30年7月13日(金)	平成30年度柏市まちづくり推進のための 調査	<ul style="list-style-type: none"> ● 柏市第五次総合計画推進の基礎資料とするための調査
平成30年 8月22日(水)	公共施設マネジメント推進会議 課長会 第2回検討会議	<ul style="list-style-type: none"> ● 「個別施設再編方針」の概要と策定に向けた取組について
平成30年 8月29日(水)	柏市行政改革推進委員会 第3回会議	<ul style="list-style-type: none"> ● 「個別施設再編方針」の素案に係る意見聴取②
平成30年 10月6(土)・14日(日)	公共施設の再編方針(案)市民説明会	<ul style="list-style-type: none"> ● 「個別施設再編方針(案)」の説明 ● 公共施設マネジメントゲームの実施
平成30年 10月29日(月)	柏市議会総務委員会	<ul style="list-style-type: none"> ● 「個別施設再編方針(案)」の説明 ● 市民説明会の実施報告
平成30年 11月28日(水)	柏市行政改革推進委員会 第4回会議	<ul style="list-style-type: none"> ● 「個別施設再編方針」のパブリックコメント案に係る意見聴取
平成30年12月17日(月) ～平成31年1月16日(水)	パブリックコメント	
平成31年 1月	庁内関係部署との調整	<ul style="list-style-type: none"> ● 記載内容の確認・調整③
平成31年 2月20日(水)	柏市行政改革推進委員会 第5回会議	<ul style="list-style-type: none"> ● 「個別施設再編方針」の最終案に係る意見聴取

＜柏市行政改革推進委員会委員名簿＞

(平成30年3月26日現在 敬称略)

区分	職	氏名	所属・役職等
学識経験	会長	上野 武	千葉大学 教授 COC+事業責任者 キャンパス整備企画室 室長
		前田 英寿	芝浦工業大学 建築学部 建築学科 教授
		浅野 朋広	産業技術総合研究所 情報・人間工学領域 研究戦略部 イノベーションコーディネータ
		篠原 晋寧	株式会社CROSSASIA代表
		高橋 秀和	高橋公認会計士・税理士事務所
経済関係	副会長	伏野 龍弥	柏商工会議所 専務理事
公募		清本 あづさ	公募委員
		根本 美智子	公募委員

② 平成 30 年度柏市まちづくり推進のための調査結果（抜粋）

1 平成 30 年度柏市まちづくり推進のための調査とは

柏市第五次総合計画の推進に当たり、まちづくりの進捗を定性的に評価するための基礎資料とするため、市の施策や取組による市民の考え方や行動への影響等について調査するものです。

2 調査の概要

調査対象	柏市在住の 18 歳以上の市民を無作為抽出
調査時期	平成 30（2018）年 6 月 25 日～7 月 13 日
調査方法	郵送による配布・回収
配布数	4, 000 通
有効回収数	1, 811 通
有効回収率	45.3%

以下は「平成 30 年度柏市まちづくり推進のための調査結果報告書」のうち、公共施設に関する部分を抜粋したものです。

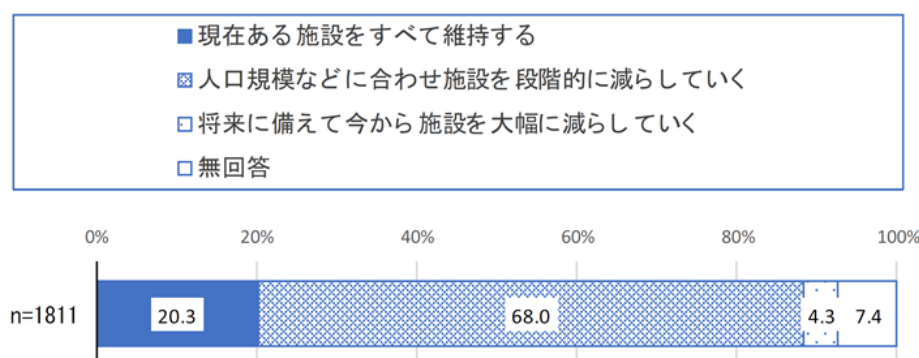
4. 公共施設についておうかがいします。

柏市の公共施設は老朽化が進み、今後、施設の改修や建替えなどに多くの費用が必要となります。一方で、近い将来、柏市でも人口減少と高齢化が進み、税金なども減少することが予想されるため、公共施設の改修や建替えなどの財源が不足することが見込まれます。

このような状況を踏まえ、以下の質問にお答えください。

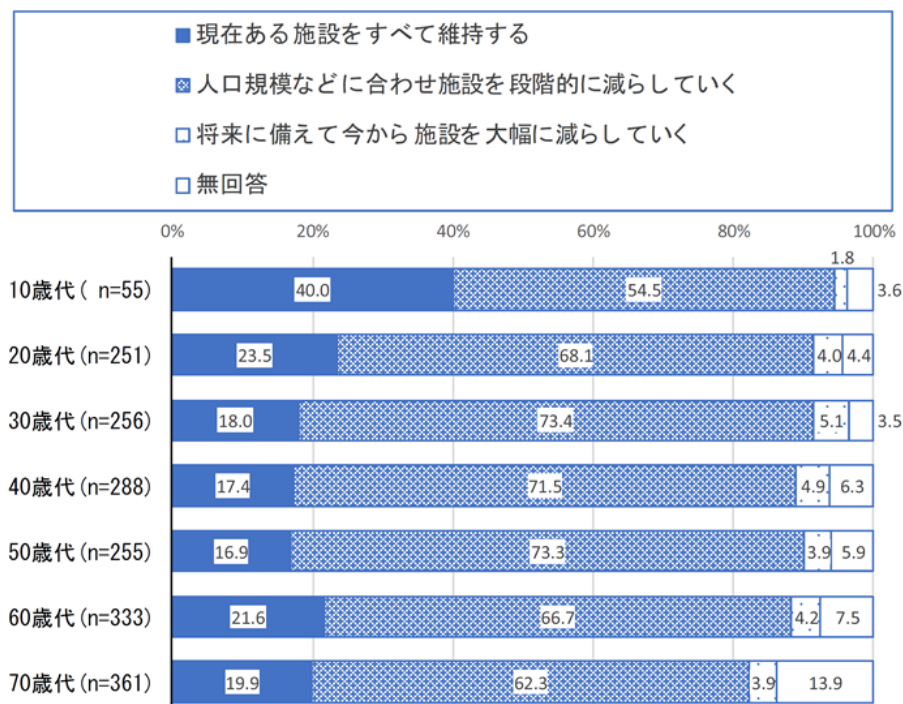
問34 これからの公共施設のあり方についてあなたのお考えをお答えください。(一つに○)

「人口規模などに合わせ施設を段階的に減らしていく」が68.0%で最も高い割合になっています。



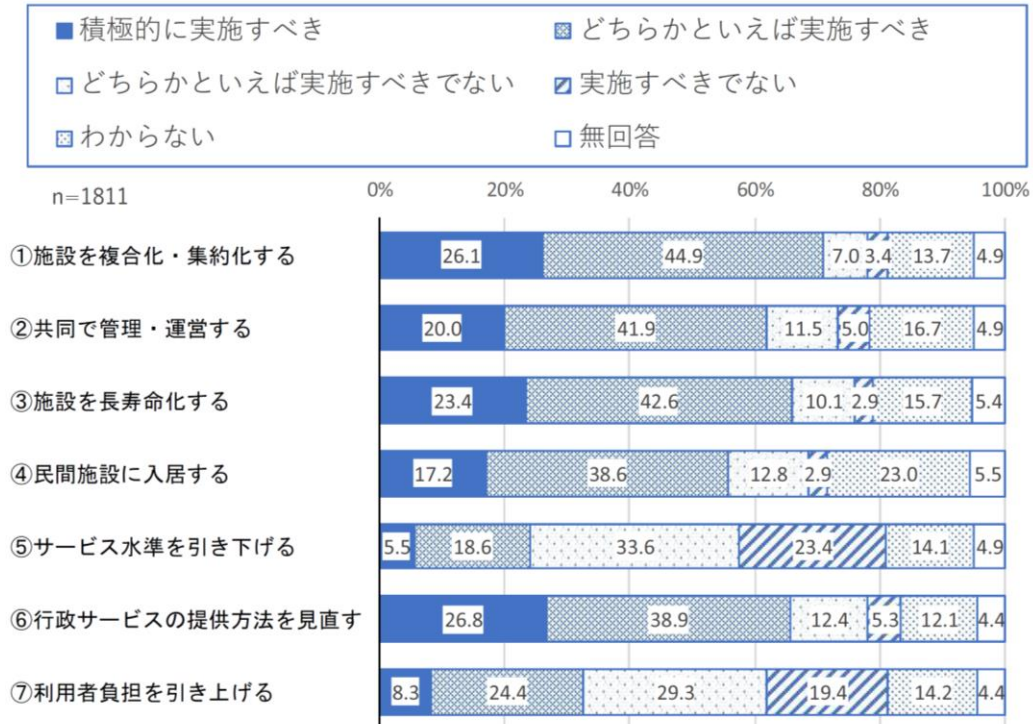
【年代別】

年代別でみると、「人口規模などに合わせ施設を段階的に減らしていく」の割合が全年代で高くなっています。10歳代では、「現在ある施設をすべて維持する」が比較的高い割合になっています。



問35 これからの公共施設の具体的な取組について、どのように思うかお答えください。
 ※① - ⑦それぞれに回答してください。(それぞれ一つに○)

「積極的に実施すべき」と「どちらかといえば実施すべき」を合わせた“実施すべき”の割合は、「①施設を複合化・集約化する」が71.0%と最も高く、次いで「③施設を長寿命化する」が66.0%となっています。



③ 市民説明会の概要と主な意見

1 目的

(1) 「個別施設再編方針（案）」の説明

公共施設の再編の方向性を示した「個別施設再編方針（案）」に関する，市民への説明及び意見聴取

(2) 公共施設マネジメントゲームの実施

カードや人形を使ったシミュレーションゲームを通じた，公共施設問題の周知

2 日時，場所，参加者数

日 時	場 所	参加者数
平成30年10月 6(土) 午後1時～午後3時45分	パレット柏 オープンスペース	14人
平成30年10月14(日) 午前9時～午前11時45分		17人
		計 31人

3 説明会当日とアンケート（自由記述）での意見

○13%といわず，より高い目標を掲げて進めていかないと，公共施設の再編を実現できず，財政負担の軽減に繋がらないのではないか。

○現存する公共施設等に優先順位をつけて，必要なものだけ建て替えや維持管理をしていくべきである。

○ゲームの中では，施設の統廃合をし利用者の移動を簡単に行ったが，現実では難しい面もあると思うので，計画の実行にあたってはまちづくりの視点をもって進めていく必要がある。

○公共施設で提供されるサービスは民間でも同種のサービスを提供している。民間サービスとの連携も図りながら，公共施設の再編を行うべき。

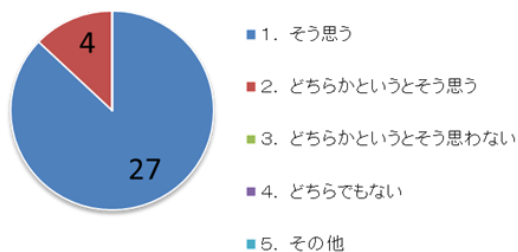
○難しい内容かと思ったが，ゲームを通じて思った以上に理解が深まった。

○ゲームを中高生や大学生に体験してもらい，今まで自分たちが考えたことがないようなアイデアを，活動につなげてもらいたい。

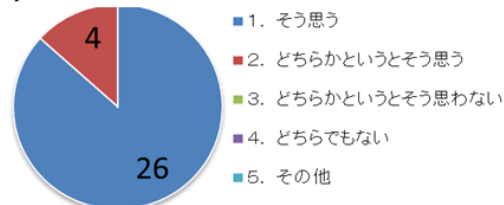


4 アンケート（選択方式）集計結果

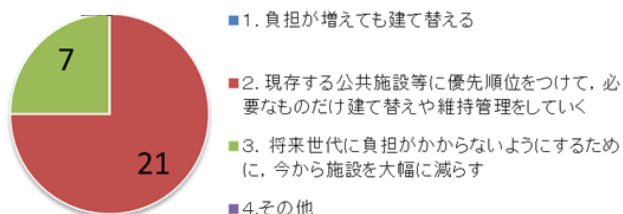
2. 説明会に参加してみて、公共施設の再編の必要性について理解は深まりましたか。(下記から該当するものを1つ選んでください。)



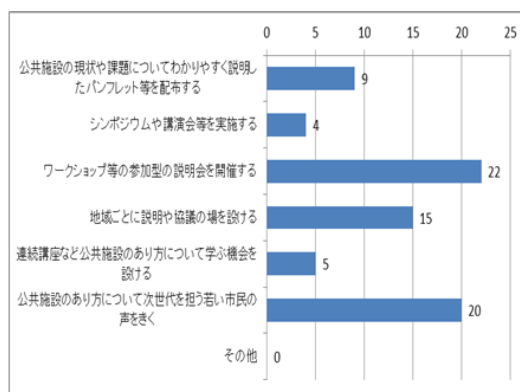
3. 説明会に参加してみて、公共施設の将来のあり方について、より関心をもつようになりましたか。(下記から該当するものを1つ選んでください。)



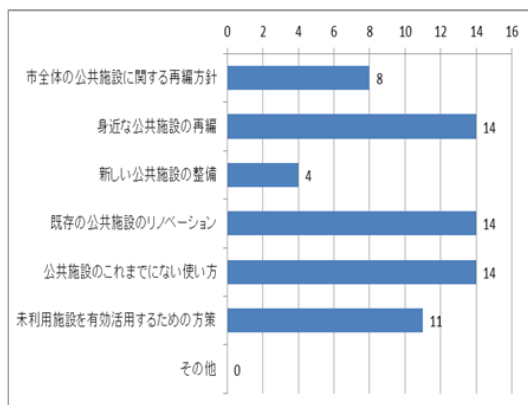
4. 公共施設の老朽化問題とそれに伴う財政負担について、どのように取り組むべきとお考えですか。(下記から該当するものを1つ選んでください。)



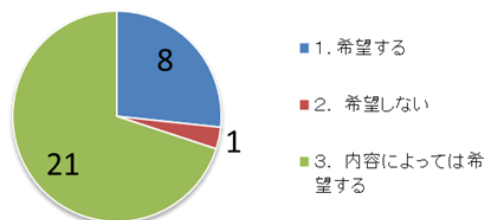
5. 公共施設の見直しや再編等を市民の皆様とともに推進するにあたり、どのような取組が必要だとお考えになりますか。(下記から該当するものを全て選んでください。)



6. 公共施設に関して、どのようなテーマに興味がありますか。(下記から該当するものを全て選んでください。)



7. 今後、公共施設の将来をテーマにしたワークショップや説明会等に参加を希望しますか。(下記から該当するものを1つ選んでください。)



※無回答は除く

④ パブリックコメント結果

- (1) 実施期間 平成 30 年 12 月 17 日(月)～平成 31 年 1 月 16 日(水)
 (2) パブリックコメント件数 延べ 151 件(58 人)
 (3) 主な意見と対象施設
 ① 再編方針の内容, 方向性に関するもの (84 件)

概 要		件 数
ア	公共施設全般について (縮減反対等)	8
イ	近隣センターについて (集約化反対等)	14
ウ	公民館について (廃止反対, 新設希望等)	19
エ	市民プールについて (廃止反対)	5
オ	学校について (統廃合反対)	6
カ	保育園について (公立存続)	5
キ	その他施設 (市民文化会館, 図書館, 市立病院, 市営住宅) について	9
ク	周知方法, 計画書の分量等について	18

【主な意見の概要】

- ア. 公共施設全般について (縮減反対等)
 ○「少子高齢化」によって施設が「余る」という。現在でさえ, 子どものための施設が足りない, 高齢者のための施設も足りない, にもかかわらず, 「余る」という認識は, おかしくないですか?
 ○高齢化で外出も面倒。市役所も遠い。出張所や図書館をもっと増やさなければならぬ時代に, 施設を減らさないでほしい。
- イ. 近隣センターについて (集約化反対等)
 ○近隣センターは生活と地域の活性のための拠点です。減らさないで利用が増える方策を講じてください。
 ○近隣センター等は市民の活動に大切な施設です。集約・削減することは反対です。むしろ, 増やしてほしい。
- オ. 学校について (統廃合反対)
 ○学校は統廃合をしないで, クラスの生徒数を少なくし教員の負担を減らし, 生徒に行き届いた教育を受けられるようにしてください。
 ○学校は地域の顔。その統廃合を児童数の数合わせだけで進めることは反対です。
- ク. 周知方法, 計画書の分量等について
 ○方針案について, 説明会・討論会を, 各地域でなるべく多く開いてください。
 ○120 ページの資料を読んで意見を言うのは難しい。

② その他意見 (67 件)

概 要		件 数
その他ア	中央公民館工事中の代替施設について	29
その他イ	中央公民館の運営について (料金, 設備, 講座, 市民参加等)	25
その他ウ	その他 (個別施設の運営等について)	13

⑤ 用語の説明

い	インフラ系施設	道路・橋りょう等の土木構造物、公園や駐輪場及び駐車場、公営企業の施設(上水道、下水道等)、プラント系施設(環境施設、供給処理施設等)など、社会基盤施設の総称をいいます。柏市公共施設等総合管理計画の中では、公園内の施設で1施設の建物延床面積が50㎡以上の施設、プラント系施設の一部、駐輪場及び駐車場については、建築物系施設(いわゆるハコモノ)に含めております。
き	供給処理施設	上水道、ガス、電力等の供給、下水道、ごみ処理など都市の生活に必要な循環機能、エネルギー供給にかかわる施設の総称をいいます。柏市公共施設等総合管理計画の中では、建築物系施設として清掃工場、リサイクルプラザ及びし尿処理施設を対象としています。また、インフラ系施設として、上水道、下水道及び雨水排水施設を対象としています。
こ	公共施設等	公共施設、公用施設その他の当該地方公共団体が所有する建築物その他の工作物をいい、具体的には、いわゆるハコモノの他、道路・橋りょう等の土木構造物、公営企業の施設(上水道、下水道等)、プラント系施設(廃棄物処理場、斎場、浄水場、汚水処理場等)等も含む包括的な概念です。なお、柏市公共施設等総合管理計画の中では、一部事務組合※が保有する施設は対象から外しております。 ※複数の普通地方公共団体や特別区が、行政サービスの一部を共同で行うことを目的に設置する組織です。
こ	公共施設マネジメント	地方公共団体等が保有し、又は借り上げている全公共施設を、自治体経営の視点から総合的かつ統括的に企画、管理及び利活用する仕組みをいいます。社会環境の変化や地域特性に応じた適切な公共サービスの提供と安定した財政運営を両立させるために、保有する公共施設を総合的に把握し、財政運営と連動させながら管理・活用する仕組みである「公共施設マネジメント」を導入することが急務となっています。
こ	個別施設ごとの長寿命化計画(個別施設計画)	「インフラ長寿命化基本計画」(平成25年11月29日インフラ老朽化対策の推進に関する関係省庁連絡会議決定)に基づき、平成32年度までに地方公共団体等において策定することとされている個別施設毎の具体的な対応方針を定める計画です。計画には、点検・診断によって得られた個別施設の状態や維持管理・更新等に係る対策の優先順位の考え方、対策の内容や実施時期を定めます。
し	指定管理者制度	平成15年9月の地方自治法の一部改正により新たに設けられた制度で、市が設置している「公の施設※」の管理運営に当たって民間手法の活用を可能とすることで、市民サービスの向上や行政コストの縮減を図ることを目的としたものです。指定管理者制度では、株式会社やNPO法人、ボランティア団体なども公の施設の管理が可能になったことに加え、これまでは直営でしか行えなかった施設の利用許可等についても、指定管理者が行えることとなりました。

し	市民協働	地域を市民にとってより良いまちにするという共通目的を達成するため、自立と対等性を基本に、市民と市がそれぞれの機能の違いを活かし、相互に補完し役割を分担して責任を果たす活動体系です。
し	少子高齢化	少子化(出生数が減少すること)と高齢化(総人口に占める老年人口※が増大すること)が同時に進行している状況をいいます。 ※65歳以上の人口。年少人口は15歳未満の人口、生産年齢人口は15歳以上65歳未満の人口をいいます。
じ	受益者負担	市が提供するサービスに必要な費用は、市税などを通して市民が負担をしていますが、特定の方がサービスの提供を受ける公民館やスポーツ施設の利用、住民票や納税証明書の発行などの場合、サービスを利用する方と利用しない方の負担が公平ではありません。このため、市が提供するサービスを利用する方に、使用料や手数料など、一定の費用負担を求めています。この費用負担のことを受益者負担といいます。
ち	長寿命化	公共施設としての質を確保しつつ、より長く建物を使用するための対策を講じることです。具体的には、計画的な予防保全※を行うことにより、劣化の進行を遅らせることなどがあります。 ※老朽化が進み、行政サービスに支障をきたす重大な故障や、大規模な改修が必要な損傷を起こす前に、事前に対策を講じることです。
て	(施設の)低炭素化	公共施設の新設及び改修時等に二酸化炭素の排出を抑制する又はそれを吸収する技術を導入し、災害時におけるエネルギー確保の観点も踏まえ、施設の省エネ・創エネ化を推進することです。
て	適正配置	利用圏域や機能が重複する施設や、諸室の相互利用が可能な施設などを精査し、老朽化度や市民ニーズ等も勘案しながら、地域の実情に即した施設資源の再配置や統廃合等を行うことです。このことにより、より効率的な行政サービスの提供を図ります。

ば	バリアフリー	障害者や高齢者が、日常生活を送る上で支障となる障壁(バリア)を取り除くことをいいます。現在では、意識や各種制度など、社会参加を困難にするもの(ソフトな意味合い)に対しても使われるようになりましたが、柏市公共施設等総合管理計画の中では、主に段差の解消や仕切りの解消など、物理的な側面(ハードな意味合い)としての言葉として使用しています。
び	PFI	PFI(Private Finance Initiative)とは、公共施設等の建設、維持管理、運営等に至るまでの全部又は一部に民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用し、行政が直接実施するよりも効率的かつ効果的に行政サービスを調達する手法です。
へ	(財政負担の)平準化	財政支出が一時的に集中しないように、毎年の支出を平均的にすることをいいます。
ぼ	ポートフォリオ分析	重要な2つの指標の組み合わせにより、平面へ要素を配置する(マトリクス※を作る)分析手法です。柏市公共施設等総合管理計画の中では、品質(ハード)の偏差値と供給・財務(ソフト)の偏差値という2つの指標を組み合わせ、各施設単位ごとに平面へ要素を配置(グラフにプロット)することで、類似用途の施設間で高低の相対比較をし、施設現況を包括的に把握します。 ※二次元で、行という縦軸と列という横軸をもつ二軸の表のことをいいます。
ゆ	ユニバーサルデザイン	あらかじめ、障害の有無、年齢、性別、人種等にかかわらず多様な人々が利用しやすいよう都市や生活環境をデザインする考え方のことです。(障害者基本計画【平成14年12月24日閣議決定】より)
ら	ライフサイクルコスト	建物の企画及び設計から始まり、建設を経て、光熱・上下水道、日常の保守点検、改修などの維持管理、清掃などの管理運営、建物保険、解体処分までを建物の一生涯と定義し、その全てにかかる費用のことをいいます。柏市公共施設等総合管理計画では、今ある全ての建物を現状のまま維持するという前提で、多大な費用を要する大規模修繕及び建替えを対象とし、ライフサイクルコストとして試算を行っています。

⑥ その他

関連する計画については、下記の柏市オフィシャルウェブサイトに掲載しています。

○公共施設等総合管理計画「施設白書編」 平成 28 年 3 月策定
<http://www.city.kashiwa.lg.jp/soshiki/030300/p035489.html>

○公共施設等総合管理計画「基本方針編」 平成 29 年 3 月策定
<http://www.city.kashiwa.lg.jp/soshiki/030300/p040600.html>